



春の遠足に行ってきました

6月16日(月)、春の遠足で和歌山県植物公園緑花センターに行きました。幼稚部から高等部(本科)の13人が参加し、学部を超えて交流ゲームなどをしながら遠足を楽しみました。

緑花センターではまず集合写真を撮り、広場でA・Bチームに分かれて、背の順並びゲームや音当てクイズなどに取り組みました。その後の自由遊びは大型遊具に登ったり、ターザンロープをしたり、園内散策をしたりしました。園内を歩くときやゲームの時に中学部・高等部のお兄さんお姉さんが幼稚部・小学部のみんなに優しく声をかけてくれていたのが印象的でした。

この日は6月とは思えない暑さのため、お昼前には学校に戻り、お弁当を食べた後は、午後からパラバルーンをして交流しました。チームに分かれて、ジブリやディズニー、音楽の時間に歌っている「パレード」などの曲に合わせてパラバルーンを上へ、下へ…ジャンプしながら、激しく動いたり、友だちの動かす風を感じたりしました。みんなで取り組んだパラバルーンに「おもしろかったー!」と感想を話してくれた人もいましたね。みんなの「笑顔」がいっぱいの遠足でした。



和歌山盲学校恒例行事「鮎つかみ体験」を今年も実施しました 🐟

6月23日(月)、今年も県・内水面漁業協同組合連合会の皆様にご協力いただき、「鮎つかみ」を開催しました。玄関前に設置された簡易プールに約100匹の鮎を放流。水中を素早く泳ぐ鮎の動きを身体全体で確認し、恐る恐る手を伸ばす人、次々と両手でキャッチする人…つかんだ鮎のかたちや手触り、そしてにおいをそれぞれ感じることもできていました。また、漁協の方から鮎の口のつくりを教えてもらい、「ザラザラしていた」という感想を教えてくれた人もいましたね。

最後には、塩焼きにした鮎をみんなでいただきました。炭火で焼いた鮎のかたちをここでも改めて確認し、おいしく味わいました。また、捕まえた鮎は教室でもじっくり観察。

県・内水面漁業協同組合連合会の皆様、今年も貴重な学習の機会をありがとうございました。



6月23日(月)、学校運営協議会委員の太田先生・北岡先生をお招きし、研究研修部企画による授業実践相談会を開催しました。よりよい授業づくりができるよう、ビデオ撮影した授業動画をもとにこどもの見立てや授業の工夫について、グループに分かれて話し合い…活発な意見交流ができました。太田先生からは「授業を見て、こどもの様子をわかしあえたことが大切」と助言をいただきました。